

神奈川ウォーキング参加 H25-14



全国一斉集申ウォーク

【泉の森・緑のかけ橋】へさあ行こう！

- 日時 : 平成 25 年 11 月 9 日 (土)
- 集合 : 泉の森【泉の森・緑のかけ橋】 14:00
- 趣旨 : 距離やコースは全て自分で計画。地図を見ながらゴールを目指して・・・
 単独ならきままに歩ける、グループだと尚楽しい。
- 参加 : <纏め役>中村・平嶋、 勅使河原、大平、平野・小林、神谷、吉越、吉野・小野里、熊嶋・吉成、
 石川夫妻、常磐、佐藤繁、山内、小作、熊坂、伊藤真 合計 20 名
- 報告会 : 14:10 ~ 14:50 「緑のかけ橋」下の広場で、出発駅・時刻、到着時刻・歩数、距離と感想
 を全員述べました。
- 天候 : 曇り 気温は 15℃と寒いでしたが、歩くと丁度良い気温でした。



緑のかけ橋
 (木製斜張橋)

この橋は、泉の森を東西に結ぶ木製斜張橋で、長さにおいては日本に実例がなく、「泉の森のシンボル」として周辺の自然となじむと同時に、橋を渡りながら花ショウブをはじめ、湿生、水生植物やホタル、野鳥等が観察できます。

等級 / 歩道橋	● 支間距離 / 15m + 27m + 13m	● 形式 / 木製の斜張橋
● 床版の高さ / 4.0m	● 材質 / 米松集成材	● 高欄の高さ / 1.1m
● 幅員 / 20m	● 橋脚の高さ / 11.9m, 2脚 (支間 27m)	● ケーブル / 太さ 32mm, 合計 16 本で橋を支える



【報告会】中村さん司会で、一番遠くから、早く出発した人、「緑のかけ橋」に一番早く到着した人から発表しておりましたが、時間もたっぷりあり、結局全員順番におしゃべりさせられました。結果良い報告会でした。多くの感想は、「いつもリーダーの後をついて歩くのは楽だけど、1人で歩くと地図を見ても迷いました。下見を含めたリーダーの皆さんのご苦労が良く判りました。改めて深く感謝を申し上げます！」



【泉の森】「緑のかけ橋」報告会后地元大和に詳しい山内さん大平さんの案内で、南側を散策し、大和駅へ。



一帯は過って引地川沿いの谷戸田。しかし都市化が進むと雨量の流入が多くなり、洪水が発生するようになり、1927年上草柳調整池を整備して公園として開放した。

大和市は人口23万、東西3,22km、南北9,79km

mの細長い市。標高90mから30mと北から南に緩やかに傾斜のある街です。鉄道3線・7駅有る便利な市。泉の森は上の右マップで見分けるように広く、北側の旧国道246号から南側東名高速道までの42ha有ります。左図の各施設を見て歩くとたっぷり1時間はかかりそうです。初夏の湿性園頃孫とキャンプバーベキューすれば、子どもは水遊び、大人は樹林散歩や湿性園菖蒲を愛で楽しむそうです。良い所を選定されました。 P2

綺麗な清流に写る山、その清流、特に緑の藻草の上の鴨カップルの遊泳は絵になります。



↓南端に東名高速のトンネルをくぐると、ふれあいの森、熊野神社、メタセコイアの遊歩道。



遊歩道の池には水が流れていない。彫刻とはいえ魚が可哀そうでした。駅前御祭は今から準備で役員ばかり。



【アフターin中華屋】16名

15時過ぎ、土曜日祭と云うのに
居酒屋はまだ閉店。仕方なく中華屋
と交渉成立。瓶ビールと紹興酒でさ
さやかに、しかし楽しく、明るく、
健康的に過ごしました。

15:40~16:50

【第2部：伊藤ウォーキングレポート】

当初は、自宅から近い所なので軽く考え、「泉の森」だけを散策予定。家内からも孫の遊び場に良さそうな所で一緒に行くことも考えていましたが、孫が急に下痢気味で呼び出しが掛かり、応援することになり、1人で行くことになりました。平嶋さんに携帯し、「緑のかけ橋」14時集合で解散とのこと。「泉の森」の散策をするなら、13:00到着必要。全国集中ウォーキングの趣旨を思い出し、HPを開くと各運営委員の方は、各自コースを登録されていたので、まじめに再検討、検索し、地図4枚準備。平成22年2月3日(水)大平Lで「大和の森と矢倉往還をゆく」で泉の森は体験済でした。溝口から中央林間駅までは田園都市線急行で約20分。ここから泉の森へ街歩きは面白みがなく、中央林間2つ手前「南町田駅」下車、境川と近隣の社寺を加えたコース造り。結果途中の昼食時間30分を入れて、「泉の森」到着13:50、泉の森内散策は出来ませんでした。参考までに写真を添えたレポートです。

【伊藤コース】自宅10:00→田園都市線溝の口駅→【南町田駅】10:45出発→【鶴間公園】→境川遊歩道→【観音寺】→【下鶴間ふるさと館】→【諏訪神社】→境川遊歩道→【一の関・深見歴史の森】→国道246号→【泉の森・緑のかけ橋】13:50到着 15,000歩 約11km



直線距離は約6kmですが、立ち寄り写真撮影、見学、公園内巡りを入れるとこれ位になることが判りました。やはり皆さんをガイドするには下見で確認し、余裕時間や、コースカットも配慮する必要があります。小生も他の3つのグループの2時間の短いコース、公園社寺を単独で行っていても、それぞれの個所の地図を見て結び付け歩くのは大変です。特に都内街中は苦勞します。今回は分岐点や社寺周辺の詳しい地図を4枚準備しました。社寺・公園は必ず樹林があり、境川・246号線・東名を頭に入れてチェックしましたが、2~3ヶ所で苦勞しました。リーダーガイドについて歩くのは楽です。

【南町田駅】初めて降りた駅です。駅前にはかならず案内マップが有ります。【鶴間公園】



約6万㎡の広い公園で、今日は土曜日家族連れが見られました。来月はクリスマス、その↓「クリスマスローズ」



【境川】公園から境川に出ると、今朝乗ってきた田園都市線と↓【境川水管橋】：相模川から横浜市に給水。



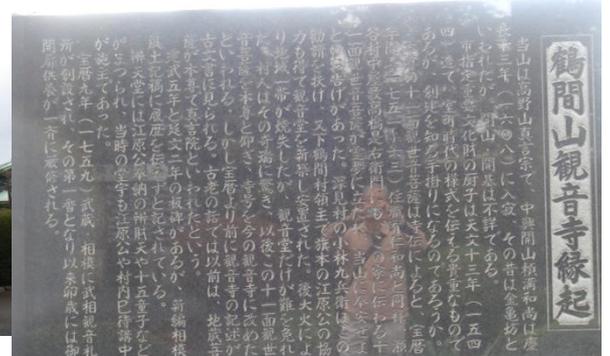
境川は2級河川で、源流は町田市相原町大戸の草戸山(365m)。川の名は武蔵国と相模国の国境が由来。遊歩道が整備されて散策ウォーキングやランナーにすれ違い、清流で、錦鯉も泳いでいました。



鶴瀬橋で3川歩きの吉野会長と小野里さんに出会いました。

【観音寺】 11:25

4,000歩



【下鶴間ふるさと館】旧小倉家宅。矢倉往還で雑貨商営み。



【下鶴間不動尊】

【鶴林寺】



【旧下鶴間宿】

旧下鶴間宿

ここを東西に走る道路は矢倉沢往還と呼ばれた古道であり、江戸時代には東海道の脇往還として重要な交通路となっていました。青山（東京都港区）を跳し、神奈川県を西南方向に突っ切り、間本・矢倉沢・足柄峠（南足柄市）を通り三島へと至る街道です。また、大田街道とも呼ばれるように江戸時代中期以降は大田信仰や富士信仰の行者が利用する道としても栄えました。

下鶴間宿には、相屋、げんこく屋、かたい屋、そば屋、馬喰等の屋号を持った染め物屋・居酒屋・餅屋・質屋といった商家や、山本屋・松屋・三津屋・松葉屋・角屋、ちとせ屋の旅籠がありました。矢倉沢往還は宿場の中で瀬谷と町田を結ぶ道と交差していましたが、その辻には高札場がありました。また、天保2年（1831）には渡辺華山が小園（鎌瀬市）に行く途中、この坂の上にあった旅籠を兼ねていた「まんじゅう屋」で一泊しており、その時のことを「游相日記」に記しています。それによると、当時の下鶴間宿のことを「ものさしい」と記しています。この宿場がにぎわいをみせるのは幕末頃であったようです。

大和市教育委員会





矢倉往還の歴史が有りました。

ここから諏訪神社に行く道、分岐点で迷う。境川へ戻る道を止めて、坂道を感じて登る。門構えの家ばかりで、番地入り表札無し。少々心細くなりましたが、地元の人にすれ違っても敢えて尋ねず進む。

【諏訪神社】「諏訪神社近道」の看板が見えてきた。ホットする。菊展が五三御参りを歓迎しておりました。



【一の関・城ヶ岡】大根をリュックに入れて先を歩く夫婦は？石川夫妻でした「伊藤さんに会えて助かった！」



梅林や観光農園を眺めながら歩く。コスモス畑に石川夫妻、ぴったりの光景です。



今日は弁当無し。どこかにコンビニかラーメン屋が有るだろうと思っていたが、甘かった。246号線ドライブインもなし。パチンコ屋ばかり。一軒有りました「RED ROBSTER」石川さん夫妻にその旨伝達し、今日頑張った御褒美にステーキを戴きました。12:55~13:25【泉の森・緑のかけ橋】到着13:50



編集後記：集中ウォークは確か2回目です。事前調査が大変ですが、良い企画だと思います。自分で企画調査、歩き、纏める。これこそボケ防止に一番良い日記帳になりました。有難うございました。健康的な18時帰宅。自宅含め19,000歩 約13km